

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

東海村村松 2401-2
oona_toukai@yahoo.co.jp
・ fax 029-284-0761

白方小移転で原電線横断が心配・・・とのご意見をいただきました

次のようなお電話をいただきました。

「6月議会の最終日傍聴したが、大名さんは白方小学校建設に関する予算を含んだ補正予算に賛成していましたが、どのような考えで賛成だったのですか。白方小が移転となれば、原電線を大半の児童が渡ることになり、危険が大きいはずですが、大勢の危険を主張することは『多数の論理』で問題だと批判なのか。おおむねこのようなものでした。

私は、「傍聴していただき、ありがとうございました。決して『多数の論理』だと批判があったわけではありません。あのときも討論で述べさせていただきましたが、白方小学校はかなり古い建物ですので、子どもたちの安全を考えてなんと言っても一日も早く建て直さなければならないということが、多くの方々の気持ちだと思っています。この間いろいろな議論があって、建設がだいぶ遅れていることから、白方小の身近な方々のうち、サクランボ学童保育の関係者からお聞きしたところ、『どこに建てるか場所が重要なのではない。この子どもたちを一日も早く安全な場所で保育したい

のです。そのために、小学校の建て替えを、一日も早く行ってほしいのです。場所がどうのこうのではありません』とのきっぱりしたご意見でした。こうしたこともあり、今議会の補正予算に含まれる白方小学校建設に関する費用について賛成したのです。ご心配の交通面、治安の面については安全確保を強く求めていきたいと考えています」と、お答えしました。

お電話をくださった方は、「考え方はわかった。原電線の横断について特別な手だてをぜひとるよう求めてほしい。」と述べられました。私は、「十分承知しています。お電話ありがとうございました」とお答えして受話器をおきました。

長い歴史と伝統をもつ白方小学校の建て替えですので、建設に関しては十分な議論が必要なのだと思います。しかしながら、さまざまな議論の結果、当初より3年は建設が遅れ、次に建て替えが予定されている照沼小学校のことも考えれば、そしてなにより、子どもたちの安全と教育環境の充実を考えれば、いま建て替えの作業に着手すべき時期であるのかとも思います。

【お知らせ】

しんぶん赤旗 日刊紙月2900円
日曜版月800円

感想も聞かせてくださいね

* ご家族みんなで楽しみ、社会の動きがよくわかります。ぜひご購入ください。

バックナンバーは、日本共産党茨城北部地区委員会のホームページでお読みいただけます。

<http://www.jcp-net.jp/ibahoku/>